

# 令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	地歴・日本史B	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	2年1組～5組			
担当教員	田中亮太			
教科書等	教科書「詳説日本史B」(山川出版社)、資料集「新詳日本史」(浜島書店)			

学習の目標	原始時代から江戸時代末までの通史を概観し、その上で明治維新により日本が近代統一国家として国際社会とどのような関係性をもってきたのか、という視点から日本の政治・外交・経済を生徒に理解させる。特に明治政府がどのように国家形成をし、後の太平洋戦争の敗戦でその体制をどのように再編したのかを重視する。本授業ではこの国に生きる者として将来自分自身が国際社会とどのように対応してゆくのか、どのような政治的判断をするのかを考える力を養う。
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① 原始・古代	24	古代国家の成立についての知識がないと近代国家の成立を深い意味で理解できないため、古代の学習は重要である。幕末の動乱から明治維新、明治政府の成立の課程を理解し、また明治政府がどのような国家を作ったのか、また結果として国際社会の中でどのような国家として日本が存在しているのかを理解させる。
	② 中世・近世		
	③ 鎖国の終わりと江戸幕府の崩壊		
	④ 開国と明治維新		
	⑤ 明治政府の国家観 立憲体制の成立を目指して		
	⑥ 明治政府の経済政策		
	⑦ 自由民権運動		
2学期	⑧ 大日本帝国憲法と帝国議会の成立	28	近代的な立憲国家として、日本が国際社会の中でどのような役割を果たしたのか、また当時としての日本の国益を守るためどのような政策を打ったのかを理解させる。世界地理や世界史との関連性を重視しながら学習する。
	⑨ 日清・日露戦争		
	⑩ 日本の産業革命 産業構造の変化がもたらしたもの		
	⑪ 韓国併合		
	⑫ 第一次世界大戦と日本		
	⑬ ヴェルサイユ体制とワシントン体制		
	⑭ 普通選挙法の意味するもの		
⑮ 連続する恐慌			
3学期	⑯ 軍部の台頭と政府の脆弱化	18	国際社会の中で太平洋戦争の敗戦という転機を迎えた日本が政治体制の再編を余儀なくされ、どのようにそれに対応してきたのかを理解させる。現代の政治との関連性を重視し、政治的な判断力を養う。
	⑰ 思想弾圧		
	⑱ 第二次世界大戦 太平洋戦争へ		
	⑲ 占領下の日本		
	⑳ 高度成長の時代へ		

評価の観点・方法	定期考査及び授業態度等の平常点を勘案して総合的に評価する。
----------	-------------------------------